

北陸新幹線 整備促進に関する決議

北陸新幹線は、国土計画上、優先して整備すべき重要な路線である。しかし、県内では認可申請から14年が経過、また、福井駅部は完成して1年以上放置されたままであり、速やかに整備に着手されなければならない。

本県の国のエネルギー政策に対する大きな貢献を踏まえ、新幹線をはじめとした地域振興に努力することについては、政府全体として共通の理解を得てきている。新しい内閣においても、引き続き、着実に実行・実現されなければならない。

昨年末、政府から、整備新幹線の未着工区間について、整備の意義を十分検証し、着工の優先順位付けを検討、夏までの結論を目指す方針が示された。

政府の整備新幹線問題検討会議および調整会議では、まず最優先で新規着工区間を決定し、その上で整備新幹線全体の課題として、並行在来線支援や地方負担軽減について方向性を示すべきである。次のとおり、認可に向けた検討を急ぎ、早期の結論を強く求める。

- ・ 優先着工すべき路線として、敦賀まで（白山総合車両基地～敦賀間）の認可を早期に決定すること
- ・ 特に、財源については、貸付料、鉄道・運輸機構の特例業務勘定の利益剰余金などの活用により、整備財源を確保し、まず新規着工に充当すること

以上、決議する。

平成22年6月12日

福井県北陸新幹線建設促進同盟会